

学校経営推進費 評価報告書（2年目）

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の学力の充実
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートと学校教育自己診断および本校独自調査による生徒の授業満足度向上 ・外部の学力診断テストにおける生徒の学力レベルの向上、国公立大学と関西大学・同志社大の合格者の増加 ・英検準2級以上の合格者およびTOEIC Bridge140点以上の得点者の増加
計画名	・FCK(Future Center Kanan)チャレンジ

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>1 幹の太い生徒を育成し、充実した質の高い授業を行う。</p> <p>(2)「わかる授業」から「充実した質の高い授業」をめざし、授業公開・授業評価を通じて、授業改善に取り組む。</p> <p>(3)国公立大20人、関西大・同志社大100人の合格をめざす。</p> <p>2 特色づくりに努め、普通科改革校としての地歩を固める。</p> <p>(4)資格取得：実用英語検定を1年生は全員受験とする。2・3年生は全員受験を推奨する。</p>
事業目標	ICT教育の環境整備を進め、ICTを活用することにより、「わかる授業」から「充実した質の高い授業」をめざし、研究授業を各教科で積極的に展開し、生徒の学力の向上に努める。また、実用英語検定を1年生は全員受験とし、2・3年生は全員受験を推奨することで2級・準2級の合格者を増加させる。また昨年度導入したTOEIC Bridgeを引き続き2年次にも全員受験させ、140点以上得点できる生徒の増加を図り、英語力の向上と希望進路実現につなげる。
整備した 設備・物品	書画カメラ11台、プロジェクター11台（壁掛金具・無線LANユニット・インターフェースボックス・ケーブル含む）、55型液晶ディスプレイ2台（スピーカー・スタンド・ケーブル含む）
取組みの 主担・実施者	教頭、首席及びFCK(Future Center Kanan)有志教員
本年度の 取組内容	FCKにより年間スケジュールの作成（4月）、機器使用に向けた教員研修（4月末）、FCK有志教員による授業実践の開始（5月～）、全学年の講習に活用（7月～）、授業公開と研究協議（6月と11月）、生徒授業アンケート・学校教育自己診断等の分析と情報共有（12月・1月）、教科別活用状況の調査と評価（2月）、次年度に向けた教科別活用方法の決定（3月）
成果の検証方法 と評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートの「授業に、興味・関心を持つことができたと感じている」（26年度2.92）と「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている」（26年度2.96）の各項目の平均値を3.05以上にする。 ・関西大学・同志社大学合格者（H26年度91人）を100人に、国公立大学合格者（H26年度12人）を15人に増やす。 ・英検準2級以上の合格者（H26年度64人）を80人以上にする。 ・TOEIC Bridge140点以上の合格者（H26年度5人）を15人以上にする。 ・スタディーサポートによる2年生のGTZ（学力）C1をB3に引き上げるとともに、B1以上の人数を35人以上にする。 ・教員のICT機器活用率を80%以上にする。
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートの「授業に、興味・関心を持つことができたと感じている」（27年度3.05）と「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている」（27年度3.08）の各項目の平均値は第1回の結果は2.93に、第2回は2.95であった。（△） ・関西大学・同志社大学合格者（H27年度111人）は79人、国公立大学合格者（H27年度12人）は8人で、延べ合格者数は目標を下回ったが、実合格者数に変化はなかった。センター試験出願者はH26年度106人、H27年度155人から171人と約半数にまで増え、国公立、難関大学をめざす生徒が増えた。セナ利用での現役合格者も増え、最後まであきらめずに志望校をめざし続ける生徒が増えている。（△） ・英検準2級以上の合格者（H27年度2級15人、準2級85人）2級21人、準2級123人と目標を大きく上回る。（◎） ・スタディーサポートによる2年生のGTZ（学力）は目標通りB3に引き上げることができた。B1以上の人数は41人と昨年の14人から大幅に増えた。（◎） ・教員のICT機器活用率は92.9%であった。（◎）
次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケート：「授業に、興味・関心を持つことができたと感じている」の平均値を3.04に、「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている」の平均値を3.04にする。 ・関西大学・同志社大学合格者120名、国公立大学合格者を25名に増やす。 ・英検準2級以上の合格者を100名以上にする。 ・スタディーサポートによる2年生のGTZ（学力）B3をB2に引き上げるとともに、B1以上の人数を55人以上にする。 ・教員のICT機器活用率を100%にする。